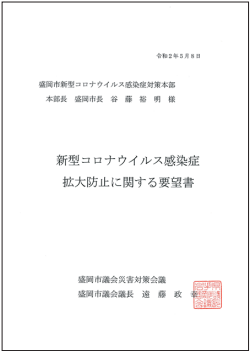


市議会の新型コロナウイルス感染症対策

対策本部長に対し要望書を提出

盛岡市議会災害対策会議は、正副議長と各会派の代表者により構成し、積極的に要望や提言などを行うこととしています。

各会派からの意見を取りまとめ、5月8日に第1回要望書を対策本部長である盛岡市長へ提出しました。



新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、市議会では4月28日に「盛岡市議会災害対策会議」を設置しました。市が設置した「盛岡市新型コロナウイルス感染症対策本部」（以下「対策本部」とします。）と協力・連携して感染症拡大防止に取り組みます。



市民や事業者の声を市政へ届ける

新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する要望書（概要）

7分野46項目の要望書を提出しました。概要は次のとおりです。

- 1 情報提供・情報共有
 - ・感染予防徹底のための市長メッセージの発信 など計5項目
- 2 感染症予防対策・医療体制強化
 - ・市立病院の体制強化 ・発熱外来の整備 など計8項目
- 3 経済・雇用対策
 - ・市独自の緊急経済対策や家賃支援事業の実施 など計7項目
- 4 市民支援
 - ・ワンストップで対応可能な総合窓口の設置 など計8項目
- 5 子ども・子育て支援
 - ・学童保育施設における感染予防対策の徹底 など計5項目

- 6 教育支援
 - ・市内小中学校、市立高校におけるオンライン授業の環境整備 など計8項目
- 7 その他
 - ・行政手続きのオンライン化の促進
 - ・オンライン化に対応できない申請者への支援 など計5項目



要望書の全文は市議会ホームページに掲載しています。こちらからご覧いただけます。

4月臨時会・5月臨時会を開催

4月臨時会

4月28日に市議会4月臨時会を開きました。新型コロナウイルス感染症対策として、市内の全世帯に対し生活維持のために必要な資金を交付する特別定額給付金事業や、市内事業者への家賃補助を行う商店街活性化支援事業などに係る一般会計補正予算など市長提出議案6件を可決しました。

議案番号	件名	議決結果
第62号	令和2年度盛岡市一般会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第63号	令和2年度盛岡市国民健康保険費特別会計補正予算（第1号）	//
第64号	令和2年度盛岡市病院事業会計補正予算（第1号）	//
第65号	盛岡市国民健康保険条例の一部改正	//
第66号	専決処分の承認（盛岡市市税条例の一部改正）	//
第67号	専決処分の承認（盛岡市新型コロナウイルス感染症対策本部条例の一部改正）	//

5月臨時会

5月22日に市議会5月臨時会を開きました。発熱外来の整備や運営などを行う地域外来・検査センター整備運営事業や、市内事業者に対し事業継続のための応援資金を給付するもりおか事業継続支援金給付事業などに係る一般会計補正予算など市長提出議案3件を可決しました。

議案番号	件名	議決結果
第68号	令和2年度盛岡市一般会計補正予算（第2号）	可決（全員）
第69号	盛岡市における常勤の特別職の給与に関する条例の一部改正	可決（多数）
第70号	専決処分の承認（盛岡市後期高齢者医療に関する条例の一部改正）	可決（全員）

議案 番号	議員 名	盛友会																市政クラブ						共産党市議団				創盛会				公明党			自	議決 結果						
		遠藤 政幸	小笠原秀夫	大石 仁雄	長岡 利明	田山 俊悦	浅沼 克人	千葉 伸行	工藤 健一	中野孝之助	櫻 裕子	後藤百合子	藤澤 由蔵	竹田 浩久	天沼 久純	菊田 隆	村田 芳三	工藤 由春	大谷 陽介	野中 靖志	加藤 麻衣	竹花せい子	鈴木 一夫	中村 亨	高橋 重幸	伊勢 志穂	三田村亜美子	鈴木 努	高橋 和夫	庄子 春治	神部 伸也	兼平 孝信	村上 貢一	豊村 徹也	大畑 正二		太田 隆司	池野 直友	伊達 康子	鈴木 俊祐		
議案第69号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	可決

※1 議案等の賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「－」、欠席者は「欠」と表記しています。議長は表決に加わらないため「/」としています。
※2 会派等名の「共産党市議団」は、「日本共産党盛岡市議団」。「自」は、「自由民主党」。

常任委員会の審査

各常任委員会を開き、本会議で付託された議案および請願の審査を行いました。審査結果は各常任委員会の委員長が、26日の本会議で報告しました。

総務 常任委員会

2年度一般会計補正予算、盛岡市市税条例等の一部改正など議案7件について審査しました。審査の過程で、市庁舎に設置する検温装置（サーモグラフィー）の運用方法や、市税条例の一部改正による市民への影響などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第89号】
令和2年度盛岡市一般会計補正予算（第4号）

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、市庁舎に設置予定のサーモグラフィーについて、設置場所や期間などの詳細と、市民の発熱を検知した場合の対応は。

答 開始時期は未定だが、本庁舎1階ホールの来庁者の接点が多い箇所に、無人機の設置を予定している。発熱判明時には、当日の庁舎での用務を控えるよう依頼することとなるが、ホームページでの事前周知など丁寧に対応する。

教育福祉 常任委員会

2年度一般会計補正予算など議案13件について審査しました。審査の過程で、介護事業継続支援事業での情報通信技術（ICT）機器導入費用への補助の詳細や、赤ちゃん応援特別給付金の申請方法と給付対象者などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第89号】
令和2年度盛岡市一般会計補正予算（第4号）

問 ICT機器導入により、介護施設におけるオンライン面会が可能となり、感染症予防対策を講じながら、利用者やその家族との円滑なコミュニケーションが図られる。該当する機器の詳細と、補助率は。

答 パソコンやタブレット端末、カメラ、マイク、ヘッドホン、スピーカーなどの機器導入費用が対象である。補助率は2分の1で、1施設当たり最大5万円である。

産業環境 常任委員会

2年度一般会計補正予算など議案4件について審査しました。審査の過程で、プレミアム付商品券の販売・利用期間と商品券の迅速な現金化などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。また、「気候非常事態宣言」を求める請願は継続審査と決まりました。

【議案第89号】
令和2年度盛岡市一般会計補正予算（第4号）

問 プレミアム付商品券事業では対象を2千店舗と見込むが、従来の事業手法では、各事業者が商品券を現金化できるまで相当の日数がかかると想定される。事務の迅速化への検討状況は。

答 緊急経済対策事業であり、可能な限り早く現金化できることが重要だと考える。事業者が使用済みの商品券を金融機関の窓口へ持参し、現金と引き換えられる体制の構築に向け調整を行っている。

建設 常任委員会

2年度水道事業会計補正予算など議案7件について審査しました。審査の過程で、市営住宅使用料の滞納状況と民事調停の申し立てを行う基準や、ダム使用権移転により得られる事業収益の使途と今後の水道事業経営の見直しなどについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第73号】
令和2年度盛岡市水道事業会計補正予算（第1号）

問 県への御所ダムの使用権移転による事業収益の使途は。また、コロナ禍や少子高齢化を見据えた今後の水道事業経営の見通しは。

答 得られる事業収益は、水道基本料金の減免と、コロナ禍による水道使用料の減収分の補填に充てる。今後の事業経営に当たり、100年を見据えた施設整備を進め全体の費用を抑えるほか、適正な水道料金であるか定期的に検証し、経営を安定させるよう努める。

会派の意見

本会議において討論が行われ、各会派が市長提出議案に対して意見を述べました。各会派の討論の要旨をお知らせします。

盛友会

全議案に賛成

議案第71号は、学校給食に関わる食材納入業者が、新型コロナウイルス感染症の影響で脆弱化しないよう、十分に配慮し実施されたい。議案第73号は、御所ダムの使用権移転に伴う収益で、水道基本料金を減免することを評価する。提示された県との連携策を内丸地区再開発の好機と捉え、市内への居住促進に向けた環境整備を推進されたい。議案第89号は、防災施設整備事業として各避難所へ適正に物資を配布するとともに、社会的距離に配慮した事前訓練などを行い、有事に備えられたい。

市政クラブ

全議案に賛成

議案第71・73・89号は、新型コロナウイルス感染症が及ぼす多種多様な影響を踏まえた補正予算であり、評価する。市独自の赤ちゃん応援特別給付金事業は、対象者の拡大などさらなる支援を期待する。御所ダムの使用権移転に伴う収入を、水道基本料金の減免の財源とすることは評価するが、今後の産業振興の財源とすることも考慮されたい。市立病院職員を慰労する観点からの手当支給を検討するよう強く求める。また、雇用環境悪化の懸念から、雇用の拡大につながる施策展開を期待する。

日本共産党市議団

全議案に賛成

議案第71号は、新盛岡バスセンター内に整備が計画されている宿泊施設に関し、業界団体から整備中止の要望書が提出されている。切実な声を受け止め、共存共栄が図られるよう理解と納得を得た上で事業を進め

るよう求める。議案第89号は、赤ちゃん応援特別給付金や大学生等有償インターンシップ事業など、経済や市民生活、医療福祉への支援として20億円規模の緊急対策を打ち出したことを評価する。引き続き、医療検査体制の充実強化を図るとともに、経済支援の拡大を検討されたい。

創盛会

全議案に賛成

議案第71号は、国の掲げる「GIGAスクール構想」の早期実現を図るため、歳出の約65％を教育費が占めることとなった。令和の時代を生きていく子どもたちが、全国一律の公正な環境下で学びを得るために必要不可欠な事業であると理解する。議案第89号は、コロナ禍に伴う第3弾の緊急経済対策として約20億円を計上した。直接の金銭支援よりも、規制緩和により事業主の創意工夫を促し、活性化を図ることが、長期的には市街地活性化に資することも念頭に置き、事業を展開されたい。

公明党

全議案に賛成

議案第71号は、消費者行政推進事業は、高齢者の財産を守る有効な事業であり、丁寧に周知されたい。コンピュータ教育設備整備事業は、モデル校で実施しているICT活用の成果や課題を踏まえ実施されたい。議案第89号は、プレミアム付商品券の発行や「盛岡の宿応援割」の補助額の増額など、落ち込んだ経済活動の喚起を促すものであり、高く評価する。また、国や県による支援策の要件を満たさず、支援を受けられない事業者の実態を把握し、市独自の支援給付金事業の実施を求める。